

酒造用地下水保全に関する要望書

灘五郷酒造組合

灘五郷酒造組合は、建設工事による所属酒造組合員の酒造用地下水への影響を防止し、永年にわたり灘酒の名声を支えてきた酒造用原料水の水質、水量を保全する目的を以て、次の通り要望しますので、対策等よろしくお願ひします。

[工事全般にわたっての要望]

- (1) 建設に伴う地下工事に当っては、事業主、設計監理者、工事施工者（特に地下工事関連施工者）は、酒造組合員の酒造用井戸への影響が及ばないように、また無用のトラブルを事前に防ぐため、最善の手段を講ぜられたい。

[酒造期の地下工事の回避]

- (2) 酒造期間中の地下水の流れは酒造用井戸の方向に流れる傾向にあるため、（時期と場所によっては海側より上流方向へ向って流れることもある。）地下工事による汚濁水の引込み、また透水層の目詰りを起すなど工事の影響を受け易いので、原則として下記酒造期を避けられたい。

酒造期 毎年10月より翌年3月末までの6ヶ月間

[地下工法の検討]

- (3) 酒造用地下水の透水層は概ね地下3～5m（場所により0.5～1.0m上下することあり）の浅い層にあるため、基礎杭工事、地中梁、土留工事等により、透水層の遮断、攪乱、汚染、透水性の悪化などが起らぬよう、設計段階より充分の配慮を願いたい。

[地質調査報告]

- (4) ボーリングによる地質調査は地下7～8mまでは特に土質の調査を綿密にし、詳細に記載されたい。この土質調査図により酒造用地下

水に影響し易いか否かの判断資料としたいためである。

[酒造用井戸より遠隔地での工事対策]

- (5) 旧河川に当る地域での工事は、酒造用井戸とかなり離れた場所であっても、地下水脈の上流に当るため、水量保全に対する影響が大きいため、事前に打合せされたい。

[湧水の揚水対策]

- (6) 地下工事に当り、湧水の揚水または地下水位低下のための揚水が避けられないときは、出来得る限り揚水量を少なくする方案をたて相談されたい。出来得れば揚水量の予測と工事期間中の総揚水量を報告されたい。

[雨水による汚染対策]

- (7) 掘削の深さが地下水面より上で、揚水を伴わない工事であっても地表土を広範囲に掘削するときは、降雨による汚濁水が透水層まで浸透する恐れがあるので、シートの被覆を行い雨水溜りをポンプにより排水されたい。

[観測井による影響有無の確認]

- (8) 基礎杭工事等による地下水への影響を調査するため、敷地内の地下水流の下流側に観測井（パイプ）を設け、工事による水位、水質への影響の有無を確認されたい。

[水位、水質異常の対策]

- (9) 特に地下工事中において、異状が認められるときは直ちに当組合に報告するとともに、工事による影響を排除する措置を予め協議されたい。

以上のことが主な協議の内容となります。